

リスクを軽減 作物をまもる 酸素供給剤

ネオカルオキシ／ネハリエース
オキシグリーン
M・O・X／M・O・Xゴールド

HODOGAYA
CHEMICAL





酸素供給剤は どのような効果があるの？

酸素供給

湿害対策

長雨や
集中豪雨による
過湿からの根腐れの
軽減・回復

根張り(根の活性)の 改善・増進

土の締まりや
水の滞留による
土壌の
酸欠状態の改善

好気性微生物の 活発化

堆肥の腐食促進、
未熟堆肥からの
有毒ガスの発生軽減
団粒化構造の促進



ネオカルオキシ、ネハリエース

粒剤

過酸化カルシウムを成分とした粒剤で、土壌中の水分と反応することで持続的(1~3ヶ月)に酸素を発生しながら消石灰となり、最終的には炭酸カルシウムとなります。



過酸化カルシウム

+



土壌中の水



酸素

+



消石灰



ネオカルオキシ



ネハリエース



M・O・X、M・O・Xゴールド、オキシグリーン

液剤

過酸化水素水を成分とした液剤で、土壌中の金属や有機物に触れて分解し、酸素を短期間に放出して、最終的には水になります。



過酸化水素水

+

土壌中の金属類



酸素

+



水



Before

M・O・X

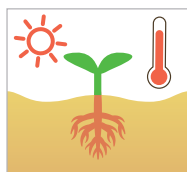
After



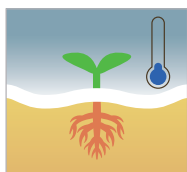
酸素発生
のしくみ

こんな時にお使いいただけます

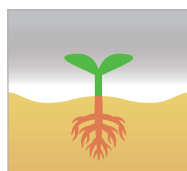
過酷な 気象条件



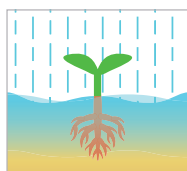
猛暑期



厳寒期



日照不足



長雨



集中豪雨

酸欠 しやすい 圃場

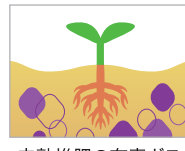


降雨後に冠水
しやすい圃場



土が締り易い圃場

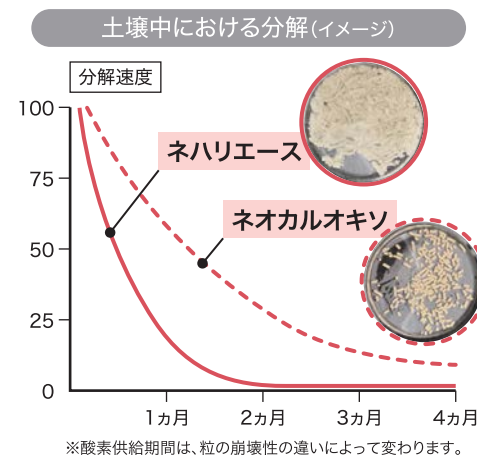
堆肥を 多量 投下する 圃場



未熟堆肥の有毒ガスの
発生による生理障害

特徴および使い方

粒剤	ネオカルオキシ	ネハリエース
酸素供給期間	土壤中で3ヶ月間	土壤中で1ヶ月間
使い方	圃場作りの段階で元肥的に使用	栽培期間の比較的短い作物の元肥的な使用、また、栽培期間中に追肥的に使用



液剤	M・O・X 登録番号:生第83485号	M・O・Xゴールド 登録番号:生第85016号	オキシグリーン 登録番号:生第 87969号
酸素供給期間	短期間に集中的に酸素を供給		
使い方	育苗から本圃まで葉面散布や灌水にいつでも使える即効性の液肥	M・O・Xに蒸留木酢液をプラスし、土壌中の有効微生物や根の活性を高めます	M・O・Xに有機酸をプラスし、土壌中のリン酸の肥効を高めます ※単剤での使用をおすすめします

●M・O・X、M・O・Xゴールドの混用表(目安)

種類	混用可否※
強アルカリ性農薬	×
銅剤	×
微量元素系の液肥	△ (鉄・マンガンを1%以上含むものは×)
液肥	○

※混合直後から過酸化水素が分解し、施用前にタンク内で酸素が発生し、土中に供給できる酸素量が減少するため。バケツ等、小スケールで混合し、気泡の発生がみられなければ混用可。また、希釈後の液はその日うちに使用ください。

粒剤・液剤の効果的な使用方法

	果菜類	葉菜類	根茎類	水稻	花卉類	植栽・芝生
粒剤	ネオカルオキシ ●定植前に全面散粒し、すきこむ。(40~60kg/10a) ネハリエース ●通路や灌水チューブの下にスジ状に施用する。(20kg/10a) ●圃場の加湿箇所に表面散粒する。(20~30kg/10a)	ネオカルオキシ ●定植(播種)前に全面散粒し、すきこむ。(40~60kg/10a) ●畝施用の場合は半量。(20~30kg/10a) ●土寄時にすじまきする。(20~30kg/10a) ネハリエース ●全面散粒後すきこむ。(40kg/10a) ●畝施用の場合は散粒。(20~30kg/10a) ●圃場の加湿箇所に表面散粒する。(20~30kg/10a)	ネオカルオキシ ●定植前に全面散粒し、すきこむ。(40~60kg/10a) ●畝施用の場合は半量。(20~30kg/10a) ネハリエース ●畝施用の場合は散布。(20~30kg/10a) ●圃場の加湿箇所に表面散粒する。(20~30kg/10a)	ネオカルオキシ ●代かき前の耕起時に土壌に全面散粒し、すきこむ。(10~20kg/10a) ネハリエース ●出穂20日前に全面散粒する。(10kg/10a)	ネオカルオキシ 〈ベッド栽培〉 ●定植前に全面散粒し、すきこむ。(30~40kg/10a) 〈鉢栽培〉 ●ネオカルオキシを混和する。(2~3kg/1㎡)	ネオカルオキシ、ネハリエース 〈植栽〉 ●植樹時に客土に土壌混和する。(3kg/1㎡) 〈芝生〉 ●グリーンの更新時に目土に混和あるいは散粒し、すりこむ。(50~60g/1㎡)
液剤	M・O・X、M・O・Xゴールド ●育苗時、100倍液を灌水する。 ●定植時、100倍液に苗をドブ漬けまたは灌水する。 ●定植後、灌水する。(100倍以上に希釈して1000ℓ以上/10a) ●葉面散布する。(100倍液を200~400ℓ/10a) オキシグリーン ●定植後、灌水する。(300倍以上に希釈し10ℓ/10a) ●葉面散布する。(500倍以上に希釈し200~300ℓ/10a) ●根痛み・株疲れ時、200倍希釈液を1株あたり1~3ℓ株間に土壌灌注する。	M・O・X、M・O・Xゴールド ●レタス、ハクサイ、キャベツなどは、結球時期に4~5日間隔で4回葉面散布する。(1回につき100倍液を300ℓ/10a) ●アスパラガス、ニラなどは刈り取り直後に葉面散布する。(1回につき100倍液を200ℓ/10a) オキシグリーン ●定植後、葉面散布する。(500倍以上に希釈し200~300ℓ/10a) ●根痛み・株疲れ時、200倍液を1株あたり1ℓ株間に土壌灌注する。	M・O・X、M・O・Xゴールド ●葉面散布する。(1回につき100倍液を200ℓ/10a) ●灌水時100倍以上に希釈し、株元灌水する。 ※ニラ:収穫直後100倍液散布。	M・O・X、M・O・Xゴールド ●タネモミの浸漬時、50倍液に12~24時間浸漬する。 ●育苗時に100倍液を育苗箱に500cc/箱を2~3回灌水する。 ●出穂20日前から10日毎に4回流し込む。(1回につき1ℓ/10a)	M・O・X、M・O・Xゴールド 〈ベッド栽培(100倍液)〉 ●定植直後に散布。 ●定植後に、1~2ヵ月間は2週間毎に灌水。 ●開花時、根の弱まった時に灌水。 〈鉢栽培(100倍液)〉 ●各植替後(病葉の摘除後、株及び植栽容器全体)に散布するか、各植替後に毎に灌水する。	M・O・X、M・O・Xゴールド 〈植栽〉 ●植樹時や踏み固められた土壌に100倍液を灌水・灌注する。 〈芝生〉 ●根腐れ発生時や新根発生時あるいは梅雨などの長雨時にグリーンに散布する。(1回につき100倍液を1ℓ/㎡)

堆肥 ●ネオカルオキシ 堆肥1㎡に2~3kgを混和あるいは層状に散粒する。(発酵促進、臭気軽減)

その他 ●ヘドロなどで汚れた池の臭気対策(ネオカルオキシを50~100g/㎡)

CASE 1

なり疲れ対策

供試作物:イチゴ(とちおとめ)

施用区

M・O・X/10ℓ/10a

液肥と併用、点滴チューブ使用
12/10から10日毎施用、計8回

慣行区

液肥のみ、点滴チューブ使用

結果

調査日:4/17(施用56日後)

慣行区



M・O・X施用区



	根重量(g)	総着果数(個/株)
慣行区	17.3	126
施用区	22.4(+5.1)	142(+16)

Introduction of Case

使用事例のご紹介

CASE 2

健全生育

根痛みの軽減

供試作物:ネギ

施用区

ネオカルオキシ/20kg/10a

土寄せ時にすじまき

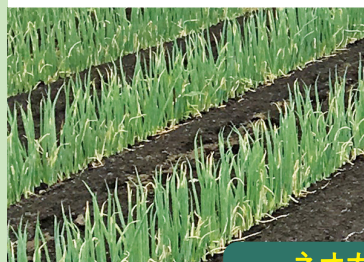
圃場

栃木県

結果

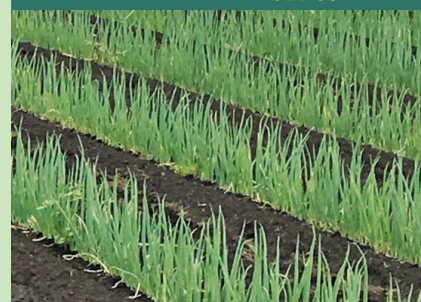
調査日:7/3(施用28日後)

慣行区



葉先枯が減少した

ネオカルオキシ施用区



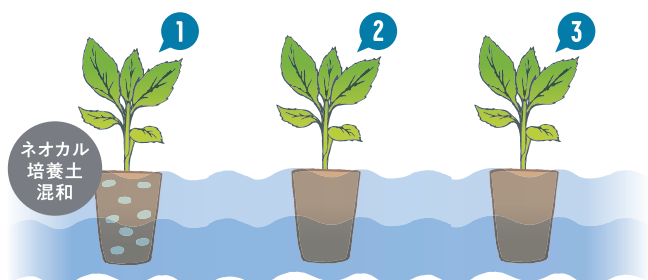
CASE 3

湿害対策

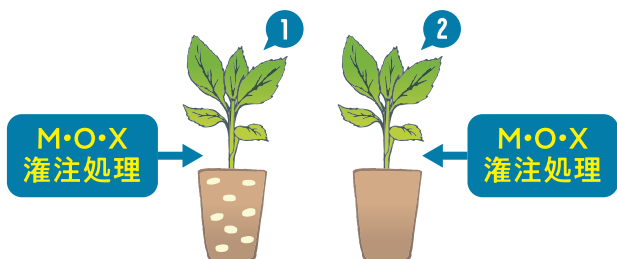
ゲリラ豪雨・長雨による湿害対策

供試作物:キャベツ

定植した苗(ポット)を7日間水没



水上げ後



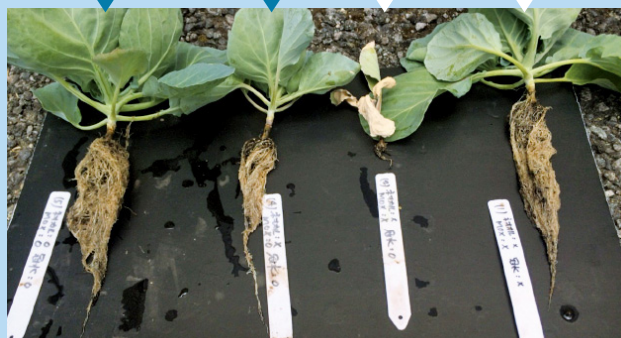
施用区

- ①ネオカルオキシをあらかじめ培養土に混和(3g/ℓ)
水上げ後にM・O・Xを灌注(50倍液)
- ②水上げ後にM・O・Xを灌注(50倍液)

ネオカルオキシ
M・O・X処理

M・O・X
処理

無処理



水没あり

水没なし

※撮影:水上げから14日後

粒剤・液剤の物理的性質

	粒 剤	液 剤
形状	1mm粒状	液状
見掛比重	0.8～1.0	1.0
吸湿性	ほとんどありません	—
溶解性	水にわずかに溶解します	簡単に溶けます
pH	11～12(1%水溶液) (実際には土壌の緩衝作用によって pHの影響はほとんどありません)	原液の場合:【M・O・X】4.5 【M・O・Xゴールド】3.5 【オキシグリーン】1.1 (M・O・Xは100倍以上に希釈した場合は中性になります)

荷 姿



取扱上の注意

- ご使用に際しては、標準使用量あるいは標準希釈濃度をお守り下さい。
- 記載された使用方法以外では、お使いにならないで下さい。
- 保護メガネ、ゴム手袋、防塵マスクなどの保護具を着用して取り扱って下さい。
- 貯蔵中に金属、有機物、水等を混入させないで下さい。
- いったん容器から出したものは、元の容器に戻さないで下さい。
- 直射日光を避け、水にぬれないようにして、風通しが良く高温にならない場所に保管して下さい。
- 農薬、肥料とは混用しないで下さい。(ネオカルオキシ・ネハリエース・オキシグリーン)
- アルカリ性の強い薬剤あるいは、鉄剤との混用は避けて下さい。(M・O・X、M・O・Xゴールド)
- オキシグリーンは強酸性ですので取り扱いにご注意下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。



保土谷化学工業株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号 TEL 03-6852-0386(問合せ専用)

特約店